

たのしい

2018.05.24

サイエンス通信 (3)

雨ばかりのあの季節

5月も末になり、そろそろあの季節がやってきます。雨ばかりで少し憂鬱になる季節、「梅雨」です。梅雨になると毎日毎日雨ばかり……基本的な行動手段が自転車の筆者にとっては非常に困る季節です。

それにしても、梅雨になると「今日も雨か…」という日が続く気がします。ニュースなどでも「連日の雨で…」と毎日雨が降っているような印象を受けます。しかし本当にそうなのでしょう。少し調べてみましょう。

今回は梅雨の期間中の雨の日の割合が、1年間の雨の日の割合と比べてどのくらいかを調べます。

気象データは基本的に、気象庁のホームページから誰でもダウンロードすることができます。ホームページより「過去の梅雨入りと梅雨明け」データ、「過去の天気概況」データをダウンロードし、Excelで簡易的に計算してみました。天気概況は午前と午後に分かれていたので、1日のうちで少しでも雨が降っていた場合は「その日は雨」と数えます。

雨の日の割合は、

$$\frac{\text{雨が降った日数}}{\text{梅雨の日数}}$$
 で大まかに計算します。

計算結果は……さすがに梅雨でも、毎日が雨ということはありませんでした(表1)。ただ、どの年も梅雨の期間中のおよそ50%、半分の日が雨でした。1年間の雨の日の割合はおよそ25%くらいなので、梅雨ではない期間と比べると、2倍、雨が降っている日があることがわかります。

表1 過去10年の梅雨の日数と雨の日の割合

	梅雨の日数	雨の日	雨の日の割合
2008	47	21	44.7
2009	63	31	49.2
2010	36	25	69.4
2011	49	26	53.1
2012	40	22	55.0
2013	44	22	50.0
2014	49	28	57.1
2015	53	31	58.5
2016	46	24	52.2
2017	25	13	52.0
		平均値	54.1

年間の雨の日の平均割合 26.1

毎日雨が降っているわけではなかったですが、これだけ普段と差があると、雨の日が多い！という体感になることも頷けますね。ちなみに今回の計算は「大阪府」のデータを使って行いました。地域が違えば、また少し違う結果が出るかもしれません。

ちなみに、梅雨とは梅雨前線が日本の上空に停滞することで同じ地域に雨の日が続く季節のことで、日本以外の国でも梅雨が存在するそうですよ。今年は、(この記事を書いている時点では)すでに沖縄や奄美では梅雨が始まっています。大阪が梅雨入りしてしまうのはいつごろになるか……例年通りであればそろそろ梅雨入りしてもおかしくないですね。

梅雨を避けることはできないので、憂鬱な雨の日でも気分をあげられるように、新しい傘でも買いに行くのもいいかもしれません。(早)

参考 HP : 気象庁 (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

大阪管区气象台 (<http://www.jma-net.go.jp/osaka/>)